

clarion

取扱説明書

DXZ475RC

CDレシーバー

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

はじめに

■主な特長	4
■ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
■取扱上のご注意	8
ご確認事項	8
本体のお手入れについて	8
表示画面について	8
ディスプレイについて	8
エラー表示について	8
CDの演奏について	8
CDについて	9

本機の使用

■各部の名称とはたらき	10
本体部	10
付属リモコン(RCB-184)の使い方	12
別販リモコン(RCB-176)の使い方	14
■基本の操作	16
DCPの取り外しかた	16
DCPの取り付けかた	16
電源を入れる	17
ソースを選ぶ	17
音量を調節する	17
表示を切り換える	17
時刻を合わせる	18
重低音を増強する(マグナベースEX機能)	18
簡単に音質を設定する(Zエンハンサープラス機能)	19
Zエンハンサープラス機能を調整する	19
音質を調整する(バス/トレブル)	20
バランス/フェダーを調整する	21
サブウーファー出力を調整する	21
■ラジオを聴く	22
ラジオを選ぶ	22
受信バンドを切り換える	22
自動選局する(シーク選局)	22
手動選局する(マニュアル選局)	22
プリセット選局する	22
プリセットメモリーする	23
放送局を確かめる(プリセットスキャン)	23
自動メモリーする(オートストア機能)	23
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	23

■CDを聴く	24
CDを入れる/取り出す	24
すでに入っているCDを聴く	24
演奏を止める(一時停止)	25
次の曲/前の曲を選ぶ	25
早送り/早戻しする	25
最初の曲から聴く(トップ機能)	25
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)	25
■設定を変更する(アジャストモード)	26
設定項目の選びかた	26
スクリーンセーバーを設定する	27
メッセージを入力する	27
ローパスフィルターを設定する	28
ディスプレイのコントラストを調整する	28
携帯用オーディオの入力レベルを設定する	29
システムをチェックする	29

外部機器の使用

■外部機器を操作する	29
携帯用オーディオを聴く(AUX)	29
携帯用オーディオの接続のしかた	29
■CDチェンジャーを操作する	30
CDチェンジャーを選ぶ	30
聴きたいディスクを選ぶ	30
いろいろな演奏(オールスキャン/オールリピート/オールランダム演奏)	31
■iPod BBを操作する	32
iPodを選ぶ	32
タイトル表示について	33
全ての曲を連続して演奏する(オールプレイ演奏)	33
いろいろな演奏(リピート/オールリピート/ランダム/オールランダム演奏)	33
iPodメニューモードから選曲する	34

その他

システムアップについて	35
故障かな?と思われるなら	36
エラー表示について	37
仕 様	38
アフターサービスについて	39



■ 基盤・マイコンの防滴保護

- ・基盤ICの防滴保護に「Humi seal」®コーティングを採用

■ 防滴リモコン同梱(RCB-184)

- ・付属のリモコンで主な操作が可能
- ・バイク用取付金具同梱

■ DCP(Detachable Control Panel)機構のフロントパネル

- ・高級感あふれるフロントパネルにDCP機構を採用

■ CD-R/RWで記録されたディスクを再生

■ 音質重視のデジタルサウンド

- ・8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルターとデュアル1ビットDACにより、クリアなデジタルサウンド

■ Z-エンハンサー機能

- ・3種類の音質効果メモリーを備え、お好みの音質を即座に設定

■ マグナベース EX

- ・音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ ラジオ部

- ・プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12局、AM12局をメモリー
- ・メモリーした放送局を順番に受信するプリセットスキャン機能

■ CDデッキ部

- ・演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- ・1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- ・全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能

■ 52W×4chパワーアンプ内蔵

- ・最大出力52W×4chハイパワーアンプ内蔵

■ 4chRCA出力端子

- ・外部アンプを接続して、システム拡張

■ 2chRCA入力端子(AUX)

- ・ポータブルオーディオ機器を接続してシステム拡張

■ CeNET (Clarion Network : シーイーネット) 結線対応

- ・外部機器との結線に、CeNET方式を採用。i Pod®やCDチェンジャーが操作できるコントロール機能

※i Podは、米国および他の国々において登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…
火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、外の音が聞こえる程度で使用する…
外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れない…
けがの原因となることがあります。
- 電源を切るときは、音量を最小にする…
電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⚠ 注意

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…
火災の原因となることがあります。
- 本機の取付および取付の変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…
専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

-  マークのついたCDをご使用ください。また、シースルーディスク(半透明CD)、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。
- CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。
- 極度に冷えた状態のとき、本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本体および本体に接続されている外部機器を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行くと、故障の原因となります。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 表示画面の表示色が、本体の熱や温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、センターユニットの取扱説明書「エラー表示について」を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

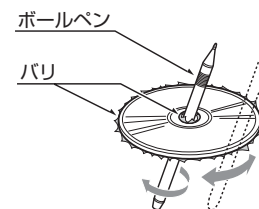
CDの演奏について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

■取扱上のご注意

- CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。長時間放置しないようにしてください。
- 各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- 印刷面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

本体部



リリースボタン

- DCPを取り外すときに使います。



[SRC]ボタン

- 電源を入れ、押し続ける(約1秒間)と電源が切れます。
- ソースを切り換えます。



[A-M]ボタン

- 音質/バランス/フェダーの調整モードに切り換えます。
- 押し続ける(約1秒間)と、マグナベースEXをON/OFFします。



[BND]ボタン

- ラジオ時は、AM/FMに切り換えます。また、押し続ける(約1秒間)と、自動/手動選局に切り換えます。
- CD時は、最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- CDチェンジャー時は、次のディスクに切り換えます。
- iPod時は、iPodメニューモードに切り換えます。また、押し続ける(約1秒間)と、オールプレイ演奏をします。



[VOLUME]ノブ

- 左右に回して、音量を調節します。
- 音質/バランス/フェダーの調整に使います。
- 各種設定時に使います。(アジャストモード)



サーチ(◀◀, ▶▶)ボタン

- ラジオ時は、選局します。
- CD/CDチェンジャー/iPod時は、選曲します。押し続けると早送り/早戻しをします。
- 各種設定時に使います。(アジャストモード)

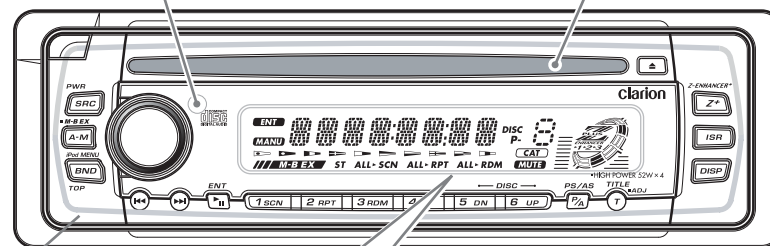


プレイ/ポーズ(▶||)ボタン

- CD/CDチェンジャー/iPod時は、演奏を一時停止します。
- 各種設定時の決定をします。(アジャストモード)

リモコン受光部

CD挿入口



ディスプレイ部

ENT : エンターインジケータ
MANU : マニュアル選局設定時

表示例

FM1 83.0 : 受信バンドと周波数

T01 00:01 : CDトラック番号と演奏時間

AM 1:00 : 時計表示

1~6 : プリセット選局時に点灯
: CDチェンジャー時のディスクNo.



M-B EX : マグナベースEX機能ON時に点灯

ST : ステレオ受信時

ALL : オールスキャン/オールリピート/オールランダム演奏時に点灯

SCN : スキャン演奏

RPT : リピート演奏

RDM : ランダム演奏

MUTE : ミュート(消音)時に点滅(リモコン使用時)

CAT : iPodメニューモード時に点灯

: ディスクインジケータ(CDが入っている場合)



イジェクト(▲)ボタン

- CDをイジェクトします。

Z-ENHANCER*



[Z+]ボタン

- 3種類の音質メモリーを切り換えます。



[ISR]ボタン

- ソースにかかわらず、交通情報等呼び出します。(ISR機能)



[D]ボタン

- 表示を切り換えます。

1 SCN

~ 6 UP

ダイレクト(1~6)ボタン

- ラジオ時は、放送局のメモリーをして直接呼び出します。

1 SCN

[SCN]ボタン

- CD/CDチェンジャー時は、10秒間ずつスキャン演奏します。
- CDチェンジャー時は、押し続けると(約1秒間)オールスキャン演奏をします。

2 RPT

[RPT]ボタン

- CD/CDチェンジャー/iPod時は、繰り返し演奏します。
- CDチェンジャー/iPod時は、押し続けると(約1秒間)オールリピート演奏をします。

3 RDM

[RDM]ボタン

- CD/CDチェンジャー/iPod時は、ランダム演奏をします。
- CDチェンジャー/iPod時は、押し続けると(約1秒間)オールランダム演奏をします。

DISC 5 DN 6 UP

[UP]、[DOWN]ボタン

- CDチェンジャー時は、ディスクを切り換えます。



[P/A]ボタン

- ラジオ時は、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

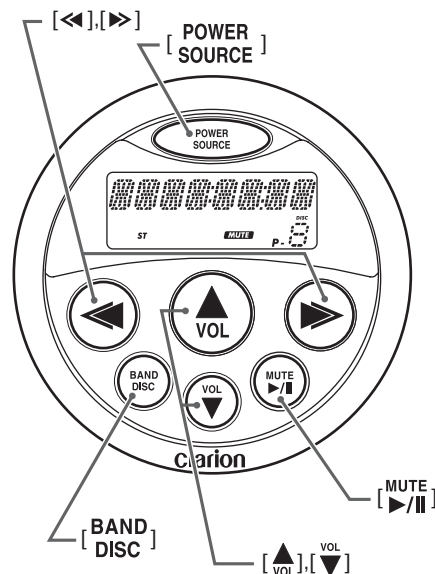


[T]ボタン

- 押し続ける(約1秒間)と、アジャストモードになります。

付属リモコン(RCB-184)の使い方

リモコン本体部



ディスプレイ部

表示例

FM1 83.0 : 受信バンドと周波数
T01 00:01 : CDトラック番号と演奏時間
AM 1:00 : 時計表示



ST : ステレオ受信時
MUTE : ミュート(消音)に点滅

: CDチェンジャー時のディスクNo.
 : 1~6 : プリセット選局時に点灯

電源を切る/ソースを選ぶ

[POWER / SOURCE] ボタン

- 約1秒間押し続けると、電源ON/OFFします。
- 押すたびにソースが切り換わります。

音量を調節する

[▲], [VOL], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE / >> / ||] ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える

[BND / DISC] ボタン

- ラジオ時は受信バンドを切り換えます。
- CD時は、最初の曲から演奏します。
- CDチェンジャー時は、次のディスクに切り換えます。
- iPod時に押し続ける(約1秒間)と、オールプレイ演奏をします。

選局する/選曲する

[<<], [>>] ボタン

- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ時)
- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。約1秒間押し続けると、早送り/早戻しします。(CD、CDチェンジャー、iPod時)

■ディスプレイのコントラスト調整

本リモコンは、センターユニットのディスプレイ調整に合わせてコントラストが変化します。調整のしかたは、「ディスプレイのコントラストを調整する」(28ページ)をご覧ください。

■リモコンの取り付け

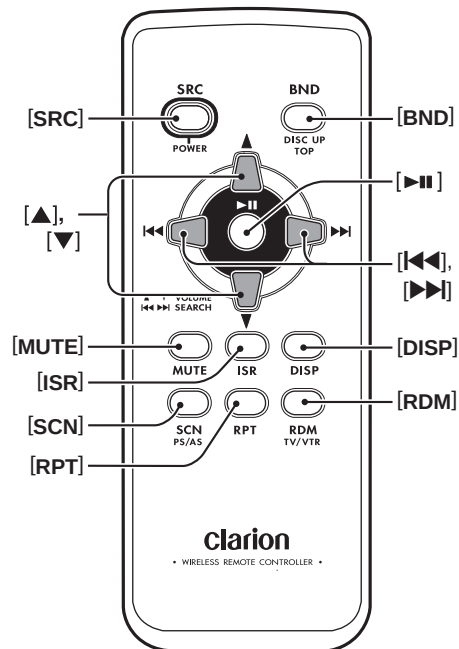
本リモコンの取付方法については、同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 本リモコンは防滴仕様であり、完全防水仕様ではありません。リモコンボタン面に、高圧洗浄機などの強い水圧がかかると故障の原因となりますので、洗車の際は十分にご注意ください。

別販リモコン(RCB-176)の使い方

リモコン本体部



電源を切る/ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 押すたびにソースが切り換わります。
- 約1秒間押し続けると、電源が切れます。

ご注意

- 本リモコンで電源をONすることはできません。付属のリモコン側で操作してください。

音量を調節する

[▲], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE] ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す

[ISR] ボタン

- 登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにメモリーするには、聴きたい放送局を受信し[ISR]ボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のソースに戻すには、もう一度[ISR]ボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする

[SCN] ボタン

- ラジオ時は、プリセットした放送局を確認されます。(プリセットスキャン) 約2秒間押し続けると、放送局を自動的にメモリーします。(オートストア)
- スキャン演奏します。(CD、CDチェンジャー時)
- CDチェンジャー時に約1秒間押し続けると、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をスキャン演奏します。
- 解除するときは、もう一度[SCN]ボタンを押します。

繰り返し演奏する

[RPT] ボタン

- 繰り返し演奏します。(CD、CDチェンジャー、iPod時)
- CDチェンジャー、iPod時に約1秒間押し続けると、全ての曲を繰り返し演奏します。
- 解除するときは、もう一度[RPT]ボタンを押します。

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える

[BND] ボタン

- ラジオ時は受信バンドを切り換えます。
- CD時は、最初の曲から演奏します。
- CDチェンジャー時は、次のディスクに切り換えます。
- iPod時に押し続ける(約1秒間)と、オールプレイ演奏をします。

演奏を一時停止する

[▶||] ボタン

- 演奏を一時停止します。(CD、CDチェンジャー、iPod時)

選局する/選曲する

[◀◀], [▶▶] ボタン

- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ時)
- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。約1秒間押し続けると、早送り/早戻しします。(CD、CDチェンジャー、iPod時)

表示を切り換える

[DISP] ボタン

- 次のように表示を切り換えます。
メイン表示 ↔ 時計表示

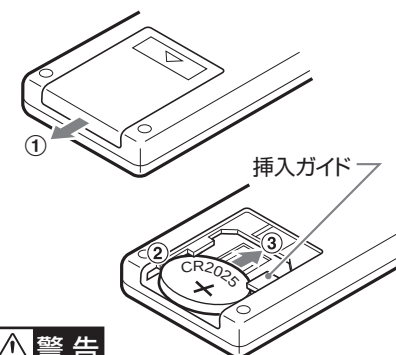
ランダム演奏する

[RDM] ボタン

- ランダム演奏します。(CD、CDチェンジャー、iPod時)
- CDチェンジャー、iPod時に約1秒間押し続けると、全ての曲をランダムに演奏します。
- 解除するときは、もう一度[RDM]ボタンを押します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠ 警告

- 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

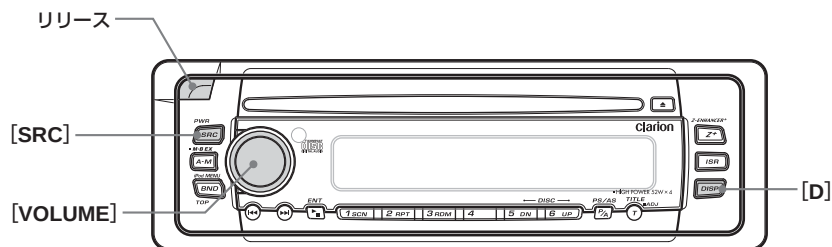
⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
- リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

ご注意

- 本リモコンは、防水仕様ではありません。水などかからないように使用してください。



DCPの取り外しかた

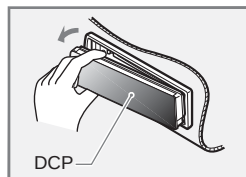
コントロールパネル(DCP)は盗難防止用に取り外すことができます。

1 [SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

2 リリースボタンを深く押す

→DCPの左端が本体から外れます。

3 DCPを手前に取り外す

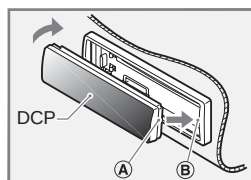


注意

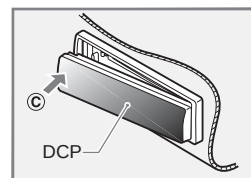
- 運転中にDCPの脱着操作をしないでください。
- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。

DCPの取り付けかた

1 DCPの右側の①部を、本機のツメ②部に差し込む



2 DCPの左端③部を、カチッと音がするまで押す



注意

- DCPがロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機とDCPを接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

電源を入れる

電源を入れるとシステムチェックを開始します。チェックが完了すると電源OFFの状態になりますので、[SRC]ボタンを押してください。

1 [SRC]ボタンを押す

ご注意

バッテリー上がり防止のため、本機の場合はエンジンがかかった状態で行ってください。

■ システムチェックについて…

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。システムチェックは次のようなときに行われます。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

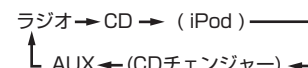
■ 電源を切るときは…

[SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

ソースを選ぶ

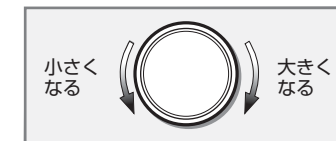
1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。()内は外部機器のソースです。



音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



→ディスプレイに調整音量値「VOLUME 13」等を表示します。

- 音量調整範囲は、0～33です。

注意

運転中は音が聴こえる程度の音量にしてください。

表示を切り換える

1 [D]ボタンを押す

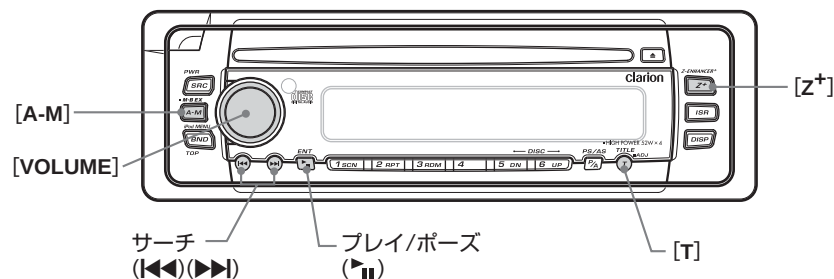
→押すたびに、次のように切り換わります。



- 時計表示中に選局/選曲等を行うと、メイン表示を約2秒間表示して元の表示に戻ります。

■ 常時、時計表示にさせるには…

「スクリーンセーバーを設定する」(27ページ)をご覧ください。スクリーンセーバー機能を「OFF」に設定し、[D]ボタンを押して時計表示に切り換えてください。



時刻を合わせる

エンジン作動時 (ACC ON時) に時計を表示します。
時計表示は12時間表示です。

1 [T]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイに前回調整した項目「**CLOCK**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチ(I<<<, I>>>)ボタンを押して、「CLOCK」を選ぶ

3 プレイ/ポーズ(II)ボタンを押す

→調整時点「**AM 10:16**」等の時刻を表示して、時刻設定モードになります。

4 サーチ(I<<<, I>>>)ボタンを押して、時または分を選ぶ

・点滅している項目が調整できます。

5 [VOLUME]ノブを回して、時刻を合わせる

6 プレイ/ポーズ(II)ボタンを押す

7 [T]ボタンを押して、元のモードに戻る

ご注意

- 電源がOFFの状態では、時計表示になっていても時刻調整をすることはできません。
- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻調整は解除されます。
- 点検や修理などでバッテリーをはずすと、時計も止まります。もう一度時刻合わせをしてください。

重低音を増強する(マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときは、低音を強調するマグナベースEXの自然な音質をおすすめします。

※初期設定は「OFF」です。

1 [A-M]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→マグナベースEXがONになり、重低音が増強されます。

■マグナベースEX機能を解除するには…

もう一度、[A-M]ボタンを押し続けてください。(約1秒間)

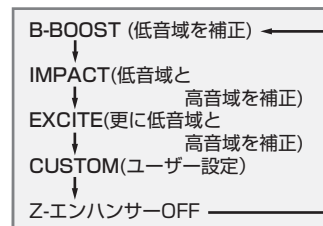
簡単に音質を設定する(Zエンハンサープラス機能)

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定して、お楽しみください。

※初期設定は「OFF」です。

1 [Z+]ボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



■カスタム(CUSTOM)について…

カスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

「音質を調整する(バス/トレブル)」(20ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

Zエンハンサープラス機能を調整する

ご注意

- Zエンハンサープラス機能が設定されているときに調整できます。
- 7秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元のモードに戻ります。

1 [A-M]ボタンを押して、Zエンハンサーの項目名を選ぶ

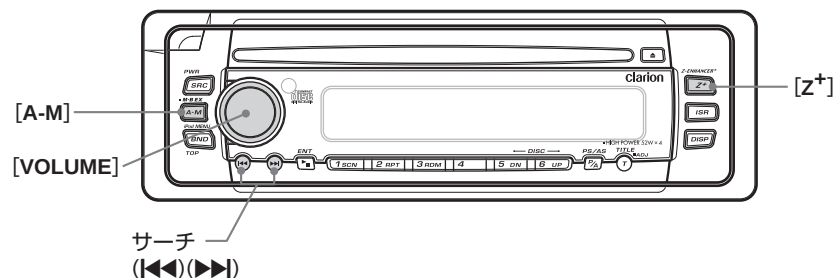
→押すたびに、次のように切り換わります。



2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

- 調整範囲は、-3～+3です。

3 [A-M]ボタンを押して、元のモードに戻る



音質を調整する(バス/トレブル)

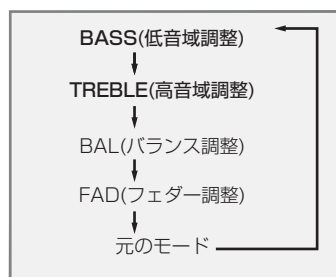
ご注意

- Zエンハンサープラス機能が「CUSTOM」のときに設定できます。
- 7秒間操作がないときは、元のモードに戻ります。

1 [Z*]ボタンを押して、「CUSTOM」を選ぶ

2 [A-M]ボタンを押して、「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



3 [VOLUME]ノブを回して「GAIN」(ゲイン)を調整する

- BASS(低音域)/TREBLE(高音域)調整範囲は-6～+6です。

4 サーチ(I<<I>>)ボタンを押して、「FREQ」(周波数)または「Q」(カーブ)を選ぶ

5 [VOLUME]ノブを回して、「FREQ」(周波数)または「Q」(カーブ)を調整する

- BASS(低音域)
周波数(FREQ)：60Hz, 100Hz, 200Hz
Qカーブ(Q)：1, 1.25, 1.5, 2
- TREBLE(高音域)
周波数(FREQ)：10kHz, 15kHz
Qカーブは選択できません。

6 [A-M]ボタンを押して、元のモードに戻る

■カスタムの設定値を初期値に戻すには…

[Z*]ボタンを押し続けてください。(約1秒間)

→「Z + FLAT」の表示をして、BASS / TREBLE の設定値が初期値に戻ります。

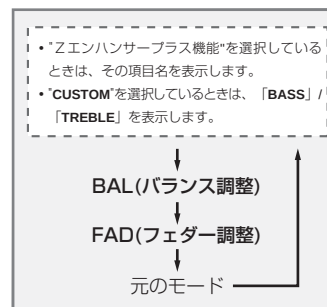
バランス/フェダーを調整する

ご注意

- 7秒間操作がないときは、元のモードに戻ります。

1 [A-M]ボタンを押して、「BAL」または「FAD」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

■左右のスピーカー音量(BAL)の調整



- 調整範囲は、L13～R13です。

■前後のスピーカー音量(FAD)の調整



- 調整範囲は、F12～R12です。

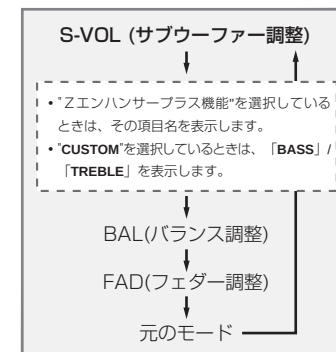
3 [A-M]ボタンを押して、元のモードに戻る

サブウーファー出力を調整する

ご注意

- この機能は、サブウーファーの設定が(LPF50, LPF80, LPF120)のときに調整できます。詳しくは、「ローパスフィルターを設定する」(28ページ)をご覧ください。
- 7秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元のモードに戻ります。

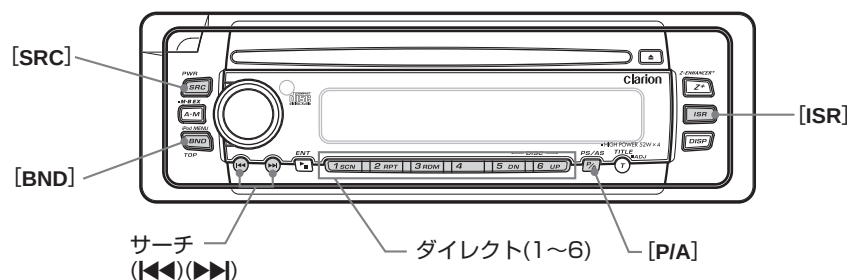
1 [A-M]ボタンを押して、「S-VOL」を選ぶ



2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

- 調整範囲は、-6～+6です。

3 [A-M]ボタンを押して、元のモードに戻る



ラジオを選ぶ

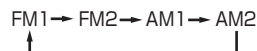
- 1 [SRC]ボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

→受信バンドと周波数「FM1 83.0」等を表示します。

受信バンドを切り換える

- 1 [BND]ボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→「MANU」が消灯しているときは、自動選局です。

- 2 サーチ(I<<<, I>>>)ボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→「MANU」が点灯すると、手動選局です。

- 2 サーチ(I<<<, I>>>)ボタンを押して、放送のあるところに合わせる

プリセット選局する

あらかじめ登録してある放送局を選局する機能です。

- 1 ダイレクト(1~6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに周波数とプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクト(1~6)ボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

- 1 [BND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ
- 2 サーチ(I<<<, I>>>)ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ
- 3 メモリーさせたいダイレクト(1~6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→ダイレクトボタンに登録されます。

放送局を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に約7秒間ずつ受信します。

- 1 [P/A]ボタンを押す

→プリセットメモリーされた放送局を、順に受信します。

- 受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[P/A]ボタンを押してください。

自動メモリーする(オートストア機能)

自動受信した放送局を、自動的にダイレクトボタンに登録します。

- 1 [BND]ボタンを押して、登録したい受信バンドを選ぶ

- 自動メモリーは、受信バンド別に登録しますので、それぞれ登録してください。

- 2 [P/A]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→受信電波の強い放送局が、自動的にダイレクト(1~6)ボタンに登録されます。

ご注意

- 自動メモリーすると、これまでの登録された内容は消去されます。
- 自動メモリーは、プリセット6局の登録が完了するまで、順に登録していきます。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)は、どのソースからでもすぐに特定の放送局を呼出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています。

- 1 [ISR]ボタンを押す

→ディスプレイに受信周波数「AM 1620」等を表示し、ISRに登録されている放送局を選局します。

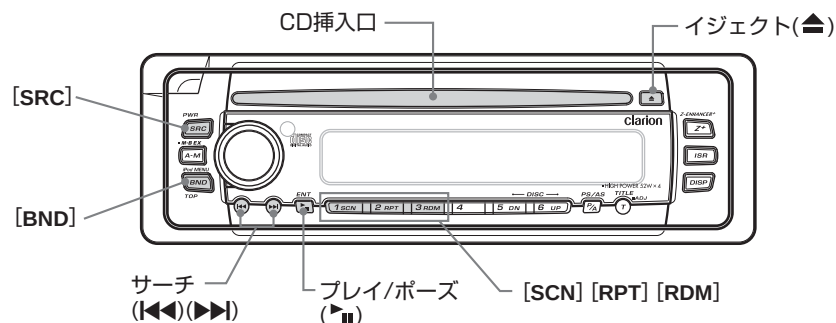
■元のソースに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンを押してください。

■ISRメモリーに登録するには…

登録したい放送局を選局し、[ISR]ボタンを押し続け(約2秒間)てください。

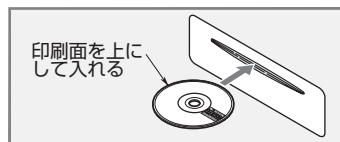
→ISRに登録されます。



CDを入れる/取り出す

1 CD挿入口にCDを入れる

シングルCDのときは、CD挿入口の中央へ入れる(アダプター不要)



→「T01 00:00」を表示し、自動的に演奏を始めます。

⚠ 注意

CD挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。

ご注意

- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- 本機は  マーク表示のあるコンパクトディスク以外のご使用になれません。
- CD-R/RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

■CDを取り出すには…

イジェクト(▲)ボタンを押してください。

→CDがイジェクトされます。

ご注意

- CDをイジェクトしたままにしておくと、15秒後に本機内に引き込まれます(オートリロード)。
- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、CDにキズがつく恐れがあります。
- シングルCDはオートリロードされません。イジェクトした場合は、シングルCDを取り出してください。

すでに入っているCDを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CDモードを選ぶ

→CDモードになると、トラックNo.「T01 00:00」等を表示し、自動的に演奏が始まります。

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す

→「PAUSE」を表示して、一時停止します。

■演奏を再開するには…

もう一度、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押してください。

次の曲/前の曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチ(▶▶)ボタンを押す

前の曲を聴くときは、サーチ(▶▶)ボタンを2回押す

→▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

◀◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときはサーチ(▶▶)ボタンを押し続ける

早戻しするときはサーチ(◀◀)ボタンを押し続ける

最初の曲から聴く(トップ機能)

1 [BND]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏します。

いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 曲を探す(スキャン演奏)

CDに収録されている全曲を10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押す

→ディスプレイの「SCN」が点灯して、スキャン演奏します。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲から始まります。

■ 曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の1曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押す

→ディスプレイの「RPT」が点灯して、リピート演奏します。

■ ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

CDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

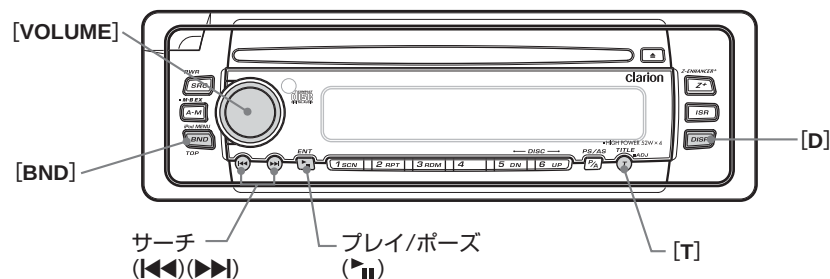
1 [RDM]ボタンを押す

→ディスプレイの「RDM」が点灯して、ランダム演奏します。

■ 演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押す

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、いま演奏している曲から通常の演奏になります。



設定項目の選びかた

1 [T]ボタンを押し続ける(約1秒間)
→ディスプレイに前回調整した項目「**CLOCK**」等を表示して、アジャストモードになります。

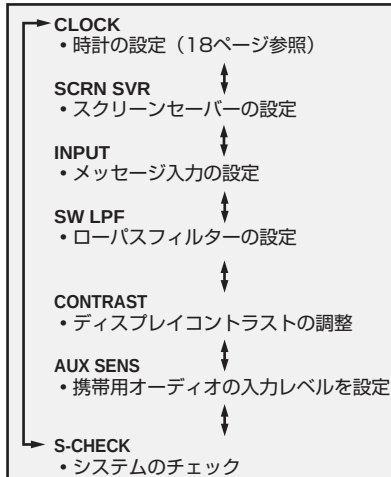
2 サーチ(I<<<, >>>I)ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、右図のように切り換わります。
•ディスプレイに「**ENT**」表示があるときは、プレイ/ポーズ(II)ボタンを押して調整内容を表示します。

■設定を終えたら…

[T]ボタンを押してください。

●設定項目リスト



スクリーンセーバーを設定する

ディスプレイに演奏状態を常に表示させておきたい場合は、「OFF」に設定してください。

※初期設定は「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**SCRN SVR**」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **OFF** : スクリーンセーバー機能がOFFになります。
- **SS** : スクリーンセーバー機能がONになります。
演奏等の状態表示で30秒間何も操作しないと、スクリーンセーバー表示になります。
- **MESSAGE** : メッセージを表示します。

メッセージを入力する

本機では英数文字と一部記号を使用して30文字まで入力することができ、この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。

※初期設定は、「**WELCOME TO CLARION**」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「**INPUT**」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(II)ボタンを押して、メッセージ入力にする

3 [BND]ボタンを押して、古いメッセージを削除する

- 入力途中で[BND]ボタンを押しても文字は削除できません。(但し、1文字削除はできません。)

4 サーチ(I<<<, >>>I)ボタンを押して、入力位置を決める

→点滅している入力位置が左右に移動します。

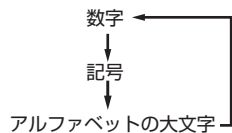
で注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

次ページに続く➡

5 [D]ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

→ボタンを押すと、次のように切り換わります。



6 [VOLUME]ノブを回して、入力文字を決める

入力文字種類

- 数字
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- 記号
. , ' * % + - × / = < > " (全点灯)
- アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z (スペース)

7 メッセージ入力を終えたら、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→ディスプレイに「MSG MEMO」を表示してメモリーします。

- 入力の途中でプレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押したときは、メッセージ入力モードをキャンセルし、元の状態に戻ります。

ローパスフィルターを設定する

RCAリア端子に接続されたアンプ(サブウーファー)のカットオフ周波数を設定することができます。

設定を「50Hz,80Hz,120Hz」にした場合は、サブウーファー出力を調整することができます。

詳しくは、「サブウーファー出力を調整する」(21ページ)をご覧ください。

※初期設定は、「REAR」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「SW LPF」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- 調整範囲は、50Hz,80Hz,120Hzです。(設定された周波数以下の音声を出力します。)
- 「REAR」は、フロント出力同様に、全帯域の音声を出力します。

ディスプレイのコントラストを調整する

ディスプレイのコントラスト(色合い)を取付角度に合わせて調整することができます。

※初期設定は、「5」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「CONTRAST」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- 調整範囲は、1 ~8 です。
ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。

ご注意

付属のリモコンのディスプレイも同時に調整されます。

携帯用オーディオの入力レベルを設定する

本機に接続された市販の携帯用オーディオの入力レベルを設定します。

※初期設定は、「MID」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「AUX SENS」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- HIGH : 入力レベルが低いとき
- LOW : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- MID : 通常レベルのとき

システムをチェックする

マニュアルでシステムをチェックします。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「S-CHECK」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約1秒間)

→システムチェックを開始し、チェックを完了すると、元のモードに戻ります。

外部機器を操作する

携帯用オーディオを聴く(AUX)

本機に市販のポータブルオーディオ機器などを接続して音楽ソースを聴くことができます。

1 [SRC]ボタンを押して、AUXモードを選ぶ

→AUXモードになると、接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で再生されます。

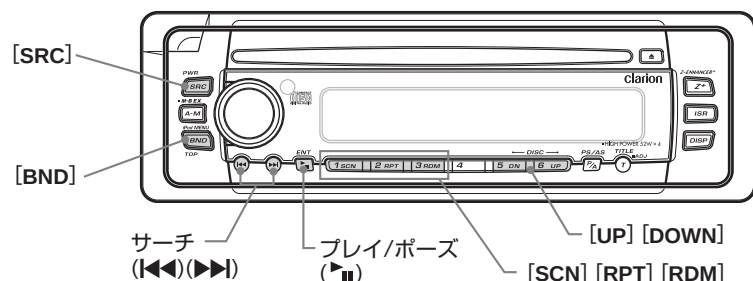
■音が割れる/音が小さいときには…
入力レベルを調整してください。調整のしかたは、「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」をご覧ください。

携帯用オーディオの接続のしかた

■AUX入力(RCA)の接続のしかた
市販のRCAコードを使用して、ポータブルオーディオを本機のAUX入力端子へ接続してください。(別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。)

ご注意

プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。



<CDチェンジャーの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ：[H<<]、[>>H]
- 早送り/早戻し：[H<<]、[>>H]
- 一時停止：[H||]
- スキャン/リピート/ランダム演奏
「CDを聴く」(24～25ページ)をご覧ください。

CDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続すると、本機でCDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーを2台まで接続できます。

ご注意

- 本機は、CD-TEXT対応ではないため、CD-TEXT対応のCDチェンジャーを接続してもCD-TEXT表示はしません。

CDチェンジャーを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押してCDチェンジャーモードを選ぶ

→CDチェンジャーモードになると、自動的に演奏が始まります。

■2台のCDチェンジャーを接続したときは…

[SRC]ボタン押して、接続したCDチェンジャーを選択してください。

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAG」と表示されます。

聴きたいディスクを選ぶ

1 次のディスクを聴くときは、[UP]ボタンを押す

前のディスクを聴くときは、[DOWN]ボタンを押す

- [BND]ボタンを押して、次のディスクに切り換えることもできます。

いろいろな演奏(オールスキャン/オールリピート/オールランダム演奏)

■聴きたいディスクを探す (オールスキャン演奏)

CDチェンジャー内、全てのディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL」と「SCN」が点灯して、オールスキャン演奏をします。

- オールスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■1枚のディスクを繰り返し聴く (オールリピート演奏)

演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL」と「RPT」が点灯して、オールリピート演奏をします。

■全ディスクの演奏をランダムに聴く (オールランダム演奏)

CDチェンジャー内、全てのディスクの曲を順不同に演奏します。

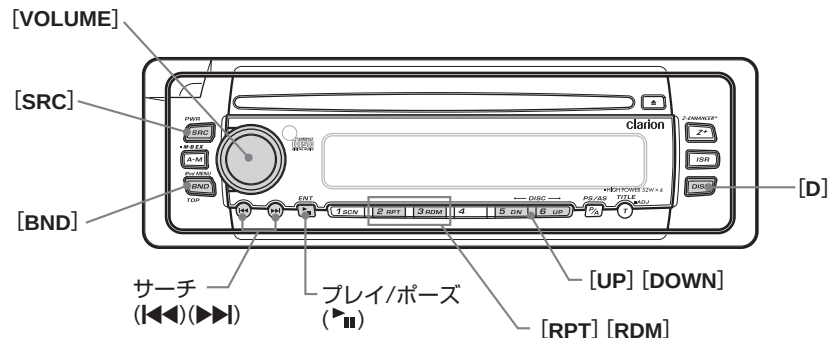
1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が点灯して、オールランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押す

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、いま演奏している曲から通常の演奏になります。



<iPodの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ：[◀◀], [▶▶]
- 早送り/早戻し：[◀◀], [▶▶]
- 一時停止：[⏏]

「CDを聴く」(24~25ページ)をご覧ください。

iPod BBについて...

別販のCeNET結線対応のiPodインターフェース(EA1276)を接続すると、本機でiPodをコントロールすることができます。

iPodインターフェース(EA1276)のことをiPod BBと略称します。

- iPod BBの接続と使用上の諸条件についてはiPod BBの取扱説明書を参照してください。
- iPod shuffleは接続できません。
- iPod接続中は、iPod本体での表示/操作はできません。

iPodを選ぶ

iPodモードでは、iPodに収録されているすべての曲を再生するオールプレイ演奏とアルバム名、アーティスト名などから選曲し再生する方法があります。アルバム名、アーティスト名などで曲を再生するには、「iPodメニューモードから選曲する」をご覧ください。(34ページ)

1 [SRC]ボタンを押してiPodモードを選ぶ

→iPodモードになると、自動的に演奏が始まります。

ご注意

- 「NO IPOD」が表示された場合は、iPod本体とiPod BBのコネクタが正しく接続されているかを確認してください。

タイトル表示について

本機はiPodから送られるタイトル情報を表示します。

1 [D]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

メイン表示 → タイトル表示 → 時計表示

- メイン表示は、2種類表示します。(再生中のトラックNo./演奏時間)と(再生中のトラックNo./総曲数)

2 タイトル表示中に[D]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→押すたびに、次のように切り換わります。

アルバム(ALBUMS) → アーティスト(ARTISTS)
曲名(SONGS)

- 本機で表示できる文字は、英数文字と一部記号のみです。表示できない文字のときは、「*」(アスタリスク)で置き換えます。

全ての曲を連続して演奏する(オールプレイ演奏)

iPod本体メニューの「Music」→「Songs」を選択し、順に曲を再生する操作に相当します。

1 [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→iPodに収録されているすべての曲を順に再生します。

いろいろな演奏(リピート/オールリピート/ランダム/オールランダム演奏)

ご注意

- この機能は、iPodメニューモードのときには操作できません。
- リピート(オールリピート)演奏とランダム(オールランダム)演奏は、同時に設定できません。

■リピート演奏

再生中の曲を繰り返し演奏します。iPod本体メニューの「Settings」→「Repeat (one)」操作に相当します。

1 [RPT]ボタンを押す

■オールリピート演奏

すべての曲を繰り返し演奏します。iPod本体メニューの「Settings」→「Repeat (ALL)」操作に相当します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

■ランダム演奏

アルバム単位でランダムに演奏します。iPod本体メニューの「Settings」→「Shuffle (Albums)」操作に相当します。

1 [RDM]ボタンを押す

■オールランダム演奏

すべての曲をランダムに演奏します。iPod本体メニューの「Settings」→「Shuffle (Songs)」操作に相当します。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押す

iPodメニューモードから選曲する

iPod メニューモードでは、iPod本体の操作と同様な感覚で、アルバム名、アーティスト名などによる選曲操作が可能です。

1 [BND]ボタンを押して、iPodメニューモードにする

→ディスプレイの「CAT」が点灯して、iPodメニューモードになります。

ご注意

- iPod メニューモードに切り換えた後、約10秒以上操作しないと、iPod メニューモードが解除されます。また[BND]を押しても解除されます。
- iPod メニューモード中は、早送り、早戻し、リピート演奏、ランダム演奏などの操作はできません。

2 [VOLUME]ノブを回して、カテゴリー表示を切り換え、[▶▶]ボタンを押してカテゴリーを選ぶ。

- カテゴリーは、次のように切り換わります。

“P-LISTS” ↔ “ARTISTS” ↔
“ALBUMS” ↔ “SONGS” ↔
“GENRES” ↔ “COMPOSER” ↔

2 またはダイレクト(1~6)ボタンを押して、カテゴリーを選ぶ

- カテゴリーは、ダイレクト(1~6)ボタンに次のように設定されます。

[1] : P-LISTS(プレイリスト)
[2] : ARTISTS(アーティスト)
[3] : ALBUMS(アルバム)
[4] : SONGS(曲)
[5] : GENRES(ジャンル)
[6] : COMPOSER(作曲家)

- カテゴリーによってはサブフォルダーが表示される場合があります。そのときは、[VOLUME]ノブを回してサブフォルダーを切り換え、[▶▶]ボタンを押して、この操作を繰り返して選択してください。
- [◀◀]ボタンを押すと、一つ前のフォルダーに戻ります。

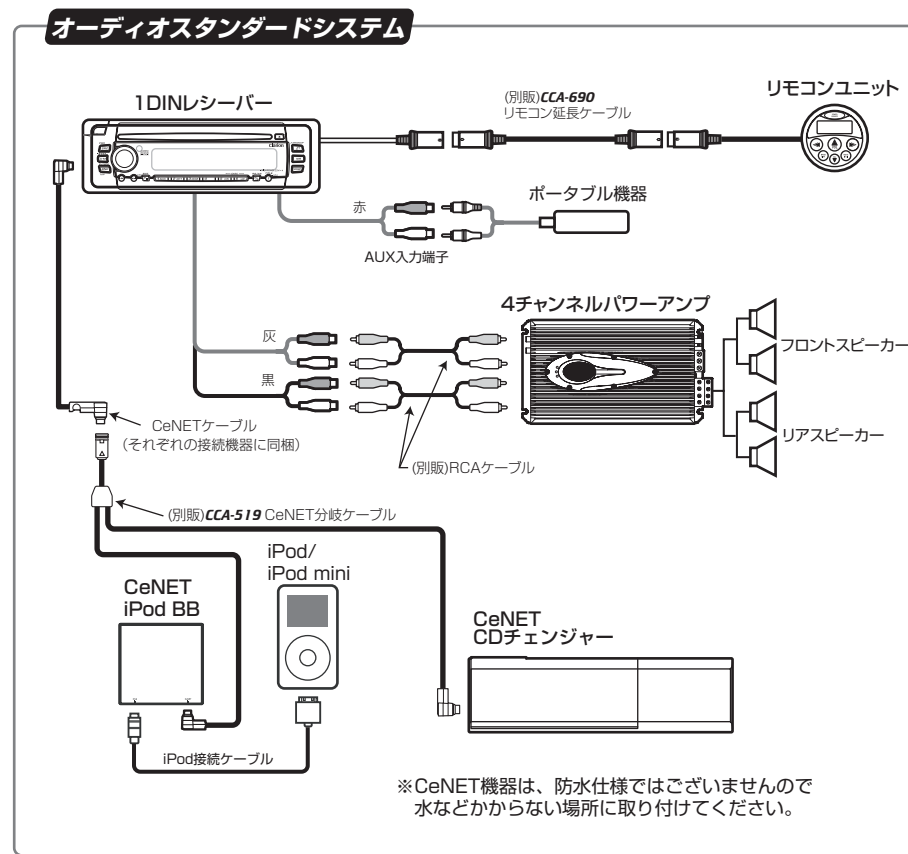
3 曲名表示のときに、[▶▶]ボタンを押す。

→選択した曲から再生をはじめ、iPodメニューモードを解除します。

システムアップについて

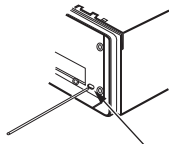
本機はCeNET結線対応の外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張ができます。以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



故障かな？と思われたら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

現 象	原 因	処 置
電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたものと同じ容量のヒューズ(15A)と交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	配線が不完全	取付説明書をもう一度お読みになって、正しい配線にしてください。
CDがすぐ出してしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
	CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。 

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときには、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に復帰します。

	エラー表示	原 因	対処方法
CD	ERROR2	ディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	CDメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
iPod	NO IPOD	iPod本体とiPod接続キットの間で通信エラーが発生している。	iPod本体をいったん取り外して、再接続してください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のディスクがローディングできないとき	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。

■ CDプレーヤー部

周波数特性 : 10Hz~20kHz±1dB
 SN比 : 100dB
 ダイナミックレンジ : 95dB
 高調波ひずみ率 : 0.01%

■ FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
 実用感度 : 9dBf
 50dBクワイティンク感度 : 15dBf
 SN比 : 70dB
 周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
 分離度 : 35dB(1kHz)
 高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
 実用感度 : 28dBμV
 SN比 : 50dB

■ AUX部

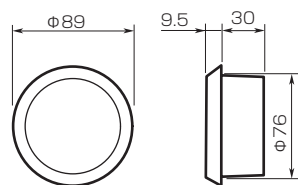
入力感度
 HIGH : 650mV(2V出力時)
 MID : 1.3V(2V出力時)
 LOW : 2.0V(2V出力時)

■ オーディオ部

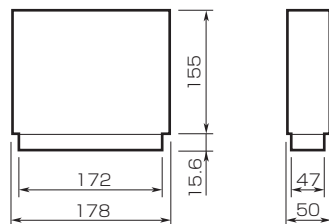
定格出力 : 17W×4(20Hz~20kHz、1%、4Ω)
 最大出力 : 52W×4
 適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)
 2バンドEQ BASS(60/100/200Hz):±15dB
 TREBLE(10k/15kHz):±12dB
 マグナベースEX : +14dB(50Hz)
 (音量ステップ 13)
 ラインアウト出力レベル : 2.0V(CD1kHz)

■ 共通部

電源電圧 : DC14.4V
 接地方式 : マイナス接地
 消費電流 : 3A 1W時
 ヒューズ定格 : 15A
 リモコン外形寸法 : Φ89(W)×39.5(D)mm
 質 量 : 200g



本体外形寸法 : 178(W)×50(H)×170.6(D)mm
 [取付寸法 : 155(D)mm]
 質 量 : 1.2kg



■ 付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- リモコン 1個
- 取付金具 1式

※これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
 お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.co.jp>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。